

**小林市立小・中学校外国語指導助手派遣事業に係る公募型プロポーザル選定評価基準項目一覧**

番号	項目	審査内容	配点
1	会社概要	会社の提案するコンセプトや外国語教育に対する考え方が、市の目的と一致しているか。	10
		信頼できる業務実績があるか。	
2	ALTの配置・勤務体制	ALTの勤務管理、連絡体制がしっかりとできているか。	15
		年度途中でもスケジュールの変更に対応することができるか。	
		外国語授業以外の活動(学校行事、教育委員会行事等)に対応できるか。	
3	労務・法務管理、生活サポート	ALTの労務・法務管理、生活面、健康面、精神面のサポートは適切か。	5
4	ALTの資質・採用	身元保証ができ、業務に必要な学歴や外国語指導経験がある者を多く採用しているか。	10
		日本語で意思疎通ができる語学力のあるALTを採用し、児童生徒や教職員と良好なコミュニケーションを図りながら指導に当たることができるか。	
5	ALTの研修・業務評価	学校配置前の研修及び業務期間中の研修が十分に行われているか。	15
		ALTの業務状況を把握するために、定期的にALTの評価を行っているか。	
		学校からの要望や課題を把握し、対応していくことが可能か。	
6	コーディネーター等体制	コーディネーター等が配置され、学校とALTとの連絡調整がスムーズか。	10
		トラブル等に迅速に対応するための窓口・体制が整っているか。	
7	トラブルへの対応	ALTが急病や辞退等になった場合、代わりのALTを迅速に配置できるか。	10
		遅刻や配置時間を守らない等、問題があるALTへの対応ができているか。	
8	指導サポート体制	教員に対して効果的な外国語教材、学習プログラム、指導方法等を提案できるか。	10
		授業で使用する教材などを豊富に提供できるか。	
9	独自提案	仕様書に定めている内容以外で、会社独自の提案があるか。 例:本市が希望するALTを次年度以降も引き続き配置する。 国際的な外国語指導資格(TESOL等)を有する者を配置する。	5
10	見積額	提案内容と見積金額の整合性がとれ、企業努力により経費の低減に工夫がみられるか。	10

合計 100